

	団体名	事業名	助成額	事業概要	審査概要
1	ふらっと R i t t o (3年目)	こども立ち寄りステーションふらっと & まなび場 ふらっとJr.	165,000	中学校卒業や、高校中退を機に切れてしまいがちな、子どもと社会のサポート資源のつながりを埋めるもの、それが「こども立ち寄りステーション ふらっと」です。気軽に立ち寄ることができる「止まり木」のような、家でもなく学校でもない“第三の居場所”です。また、まなび場ふらっとJr.は、主に中学生の進路保障を下支えする学習支援の場です。いずれも自分のペースで他者と関わり、エネルギーを充填し、その結果として自己肯定感と自己効力感が高まる…そんな場所でありたいと考えます。これらの場での出会いや体験を機に、こどもたちが、自立に向けた活動に必要な社会資源（人やもの、場所）と新たにつながっていける確かな橋渡しができることを目指します。	去年に比べスタッフが整ってきていて、卒業した人にも声掛けをするなど、先を見据えて活動されています。 条件ではないですが、助成金を次の年に向けた連携をつくるための活動にも使えると、なおよいと思います。 子どもの支援ということで色々な民間の補助金や助成金も活用を検討されるといいと思います。 なお、助成金を受けての事業ですので、チラシ等を作成される場合にはロゴマークを使用するなど、助成金を受けての事業であることが分かるようお願いします。
2	栗東いちじく 生産組合 (2年目)	りっとう無花果 コンサート2021	200,000	栗東市の名産「いちじく」を内外にPRするために開催されるコンサートシリーズ。いちじくに関する作曲家のエピソードを紹介するなど、毎年テーマを変えたオリジナルストーリーを元に開催される。栗東いちじくの生産者や野菜ソムリエをステージに招き、いちじくの特徴や新しい食べ方を紹介するなどPRに努めている。会館内カフェにて「りっとう無花果カフェ」を同時開催し、地元パティシエが考案したいちじくを使ったスイーツやケーキなどを賞味していただく。	コンサート実施を含めた事業内容が、課題の解決につながるように工夫してください。再審査において、事業予算書の積算根拠、生産の現状が確認でき、事業内容や事業スケジュールが新規就農を増やすという課題解決につながるものと判断しましたので、採択とします。 なお、助成金を受けての事業ですので、チラシ等を作成される場合にはロゴマークを使用するなど、助成金を受けての事業であることが分かるようお願いします。
3	シニア子育て サロン「ぽっけ」 (2年目)	シニア子育てサポート 事業	200,000	いろいろな用事で困ったときやリフレッシュしたいときに、子どもの面倒をみてくれる人がいない若い保護者をサポートするため、毎週金曜日に子どもの一時預かりを実施しています。 また、シニアとの交流や親同士の交流を通して、育児の悩みや楽しさを共有できるよう親子サロンを開催しています。	参加者が増えることが採算性にもつながるので、広報などは可能な範囲で行政の側も協力できるとよいと思います。 家主やママさんサークルの協力を得られたのはいいことで、協力者がいるというのは、団体の力だと思います。 なお、助成金を受けての事業ですので、チラシ等を作成される場合にはロゴマークを使用するなど、助成金を受けての事業であることが分かるようお願いします。
4	大宝村 ふるさと絵図の会 (2年目)	大宝村ふるさと絵図の 解説書作成と活用	200,000	令和2年度中に完成予定の「大宝村ふるさと絵図」の解説書を作成する。大宝村ふるさと絵図全体、各字、各暮らしの解説書を冊子にまとめ印刷する。また、大宝村ふるさと絵図の複製を増版し、たくさんの人たちに見てもらい、高齢者同士の語り合い、高齢者と子どもたちとの語り合いの場を設けまちづくりに活かしていく。	解説の冊子の作成過程、また学校などでの活用など、計画されており、努力も感じられる。どちらも大事にしていきたいと思えます。 なお、助成金を受けての事業ですので、チラシ等を作成される場合にはロゴマークを使用するなど、助成金を受けての事業であることが分かるようお願いします。

令和3年度実施 栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金 「元氣創造まちづくり事業」実施団体

	団体名	事業名	助成額	事業概要	審査概要
5	治西ゆうあい スポーツクラブ (1年目)	治西ゆうあいスポーツ クラブのキッズスポー ツ応援、 シニア世代のヘルスサ ポート、広報強化プロ ジェクト	200,000	当クラブは総合型地域スポーツクラブとして発足し今年で17年目を迎えました。毎月15の教室を定期開催の他、イベントを年数回実施しています。 地域住民の健康維持、住民の交流、絆を高め、更に子ども達の体力向上、居場所づくり等を目的に会員外にも門戸を開いた活動をしています。今年で17年目を迎えましたが、財政難の改善をはかるため会員増強を目指した新種目の採用と子ども達の体力向上と高齢者の健康維持を図る事業の取り組みと広報活動の強化を図ります。	広報強化プロジェクトは広報を強化することが目的ですので、呼び掛ける言葉が子どもたちや保護者に響く言葉となるようにキャッチコピーなど、工夫してください。 また、まずアンケートで希望される事業を用意して、利用者を増やすのはいいと思います。次のタイミングでは利用者から担い手に回ってもらおうということも、検討を進められるといいと思います。 なお、助成金を受けての事業ですので、チラシ等を作成される場合にはロゴマークを使用するなど、助成金を受けての事業であることが分かるようお願いします。
6	びわ湖ブラインド コーラス隊 (1年目)	びわ湖ブラインドコー ラス隊	185,100	視覚障がい者を中心に晴眼者の方々の援助を受けながら、日頃、ご支援いただいている各福祉団体、福祉施設の方々に感謝の気持ちを歌声でお返しすべく、発会いたしました。 障害を乗り越え、技量を磨き、歌声を披露することで皆様の心の安らぎと感動をお渡しすることを目標に、月1回会員が集まりコーラスの練習に励んでおります。まずは指導していただく講師の独演会でデビューし、地域イベントでの発表や各福祉施設の慰問を実施、同時にWebを利用して活動を全国発信します。 私共の活動は、視覚障がい者の可能性を広げ、ひいては障がい者全体の地位向上を導くものと確信しております。	視覚障害の方がこういう活動をして、自分にもできると気づけること自体に、価値があると思います。色々な人にこんなガッツのある人もいたら頑張ろうという気にさせるのではないかと思います。 なお、助成金を受けての事業ですので、チラシ等を作成される場合にはロゴマークを使用するなど、助成金を受けての事業であることが分かるようお願いします。
7	NPO法人 街道を いかしたまちづくり の会 (1年目)	旧街道の町家風景の保 存	200,000	栗東市内を通る二街道とそれに係る史跡や地域資源の発掘及び保全を行うことで観光振興、地域の再生、次世代への継承と様々な活動を進めてきました。そのような中で時代と共に急激に変わりゆく街道に接し現在の街並み保存と歴史の検証を次世代に残すため、町家の記録を残す取組。	事業が期間内に終わるように計画的に取り組んでください。 再審査において、事業スケジュールについて、提案事業の進め方が確認できましたので、採択とします。 なお、助成金を受けての事業ですので、チラシ等を作成される場合にはロゴマークを使用するなど、助成金を受けての事業であることが分かるようお願いします。

【参考】地域振興協議会活動支援事業補助（6月28日現在交付決定済）

No.	事業名 団体名	補助金額	事業概要
1	【新規】 栗東駅前美化活動 大宝東学区地域振興 協議会	50,000	栗東駅前東口広場は大宝学区地域振興協議会が主となって美化活動をされ、以前に比べかなりきれいになり、安心安全なまちづくりに寄与されています。栗東駅東口は、大宝東学区の住民が多く利用する場所でもあり、当学区としても地域住民の力を合わせて協力し、清掃活動や花植えをすることで環境整備をすること、また事業を通じて双方の情報交換等、交流を図ることを目的とします。 事業内容：毎月第2土曜日 8：30～9：30。栗東駅東口の草刈・ゴミ拾い。栗東駅東口に設置のプランターの花の植え替え(年2回)と管理。

※申請予定・・・治田東学区地域振興協議会、大宝学区地域振興協議会